



マニュアルシンキング

# Manual Thinking<sup>®</sup> で SDGs に取り組もう！

バルセロナのマニュアル・シンキング・ワークスペースへようこそ。

今日はこちらから、みなさんのために、SDGs（持続可能な開発目標）についてさまざまなスケールで考え、チャンスを見つけて行けるようなワークショップを用意しました。

「SDGs を達成するために、私たちひとりひとりがそれぞれ個人的にできることは何でしょうか、それを最小のスケール XS とすると、最大のスケールである XL では、私達が見つかることのできる地球規模で最大の効果をもたらすような解決策は何でしょうか、と考えていきます。

まず最初に、マニュアル・シンキングをどのように使うか、ということについて簡単に説明していきましょう。

そしてそのあとで、ワークショップをステップバイステップで、順を追って説明していきます。

私たちはこのマニュアル・シンキングというツールを、自分たちのデザインスタジオで使うために、つまりクライアントを含む複数の人たちからなるグループの中で、みんなで一緒にたくさんアイディアを出していくために、そしてその中からこれだと思うアイディアについてもっと深く検討していくために開発しました。

マニュアル・シンキングは家具を含むいろいろなプロダクトの総体です。皆で机の周りに立って、ビジュアルに作業をすすめます。マニュアル・シンキング・ボックスのようにビジュアルで、インスピレーションを刺激するような収納のための道具もありますし、中でも何より重要なのは、フレキシブルに、と同時にきちんと整理された方法でグループ内に生まれる思考を投影できるように設計されたマップとシールになります。

シールには、アイディアや考えを文字や絵にして書くことができます。そしてそれをマップの上に整理しながら配置していくという流れになります。

マニュアル・シンキングを使ったセッションの終わりには、さまざまに異なる人達が参加し、協力して生み出された無数のアイデアからなるアトラスのマップが複数出来上がることでしょう。その成果物は参加者全員の協力によって作られたものなのです。

そしてこのワークショップでは、みなさんがSDGs（持続可能な開発目標）について一緒に考えていくためのワークショップを用意しました。それぞれのマップには異なるSDGsの目標が一つ与えられています。まず最初に、みなさんが最も個人的なレベルで実現できるアイデアを出していきましょう、つまり、「より良い世界のために、私たちひとりひとりに何ができるか？」を考えます。

10分間の間、3人くらいのグループで、マップを囲んでその最も小さなスケールでの行動について考えていくということです。

たとえばこんな感じです。

ルキは、歯を磨くときに、水圧で歯と歯の隙間を掃除するための小さな器具を使っています。

そこにお湯を入れるのですが、今までは水道の蛇口を捻ってお湯を出し、お湯が出てくるまでしばらくの間水道を出しっぱなしにしていました。水の無駄遣いがあったわけです。そこでルキはこんなアイデアを思いつきました。冷たい水を、電子レンジで20秒ほど温めて使うのです。この方法なら、今まで毎回無駄にしていた5リットルほどの水を節約することができるでしょう。これが、もっとも小さな個人レベル、XSのアイデアの事例です。

こんな風にして、それぞれのグループが小さなスケールについて3から6くらいのアイデアを出していきます。アイデアを記入し、マップに貼り付けたら、そのマップを今度は他のグループと交換するのです、次に自分たちが受け取ったマップを使って、異なるSDGs目標の、異なるスケールのアイデアを出していくという具合です。

受け取ったその新しいマップには、前にそのマップを持っていたグループのXSのスケールについてのアイデアが描かれていますね。それを見ながら、次に、Sのスケール、あなたが今居る建物や住宅のご近所さんたちと、よりよい世界に住むために何ができそうか、考えてみましょう。



前回と同じように、10分ほどの時間をかけて、3から6くらいのアイデアを出していきましょう。

そしてその10分の後、別のグループとマップを交換します。巡回させるように交換すると良いでしょう。受け取ったマップには、さらに別のSGDsの目標と、すでに前のグループによって出されたアイデアが貼られていますね。次はスケールMです。学校や職場、施設などでは何ができるでしょうか。あなたが住んでいる市や区など、自治体の範囲内ではあることはありますか？

同じシステムに従って、10分後、またマップを交換します。次はスケールLですね。国というスケールでは何ができるでしょうか。地域や地方という単位でやできることを考えてみましょう。

最後にもう一度マップを交換して、次の10分間にはより大きなアイデアをチャンスを探していきましょう。そのマップにすでに書かれているような、今までに出てきたアイデアを、グローバルなスケールに、そして良い効果が長続きするようなものへと拡大していくのです。



最後、5分くらいの時間を使って、出来上がったマップを掲示しましょう。参加者全員で、すべてのマップを見直して、今日出たアイデアのすべてを俯瞰してみるのです。

なるだけ沢山のアイデアを出してみましょう。何よりも、周りにいる他の人たちが出したアイデアの上にもっと良いものを構築していくという姿勢が大事です。つまり、自分が考えたことと、ここに居る仲間みんなが考えたことを組み合わせて、新しいアイデアをだして見てください。

